

ボランティアだよ！全員集合！！

宍粟市ボランティア・市民活動センター

ボランティアコーディネーターがご案内します

決定！！



ボランティアコーナー
のイメージキャラクター
愛称
ぼろんちゃん

投票の結果、千種町の木山知佳さんのイラストに決定しました。

多数のご応募と、投票にご協力いただいた皆様、ありがとうございました

リスナーとの
絆を大切に

ふきのとう山崎

(朗読ボランティア)

市内のNPOや先駆的な活動をしているボランティアやセルフヘルプ活動(当時者団体の活動)を社協のボランティアコーディネーターが取材し紹介します。

朗読ボランティア「ふきのとう」は、市内の4支部で、

視覚障がい者の方などへ毎月『声の便り』をお届けしています。『声の便り』とは市や社協の広報紙等を朗読し、テープに吹き込んだものです。

「ふきのとう」の活動は、昭和59年に郡社協で講座が開かれたのを機に、その修了生によって始まりました。

山崎では、昭和60年6月に3人のメンバーで活動がスタートし、この6月で200号を吹き込みました。

現在では白寿園や市立図書館での対面朗読や大型紙芝居にも取り組んでいます。



6/22(金) 宍粟防災センターで交流会を行いました

平成16年からは、「リスナー(声の便りの利用者)」とよりわかりあえれば」と、年1回の交流会が始まりました。

朗読やゲームなどを楽しむ他、声の広報への要望を聞いています。

「山崎以外の話題も教えてもらえる」と、友達としゃべる時に助かるわ」と参加したりスナールの声。

魅力あるグループづくりの秘訣について代表の高嶋公子さんは「全員で話し合っ、誰もが活躍できるように取り組むことです。」とキッパリ。

県の研修会等で他のグループと交流することも刺激にな

るそうです。

リスナーとの絆を大切に、高い技術を活かした活動をこれからも期待しています。

(山崎支部 前野瑞恵)



絵を描くのも、BGMの選曲もグループ全員で 毎月行う学習会の成果をリスナーに披露

「声の便り」や朗読してほしい本がある方は、社協各支部へお問い合わせください。

サマーボランティア体験教室 申し込み受付中！

今年の夏は、何かが起こりそう・・・ いろんな体験を通して、たくさんの思い出を作しましょう。みなさんのご参加、お待ちしております。詳しくは、お近くの社協支部までご連絡下さい。